

## 第1回協議会で挙げた意見

No.	ページ数	該当項目	委員意見	修正の有無・修正内容
1	1	I 1(1) 国際的な動向	「「人権教育のための世界計画 第4フェーズ」(令和2(2020)年から令和4(2022)年の5年間)」という記載があるが、「令和2(2020)年から令和4(2022)年の5年間」というのは誤植ではないか。	該当部分を修正した。 「第4フェーズ行動計画(2020～2024年)」とのことなので「令和6(2024)年」が正しい。
2	1	I 1(1) 国際的な動向	鍵括弧を外さないほうが良いのではないかと。 →全ての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利あるいは人間が人間らしく生きる権利	該当部分を修正した。 鍵括弧のルールは変更せず、改行して段落を変えることで対応した。
3	1	I 1(1) 国際的な動向	「全ての人々が生命と自由を確保し、」を「全ての人々が等しく生命と自由を確保し」としたらどうか。	該当部分を修正した。 「等しく」を追記した。
4	1	I 1(1) 国際的な動向	「人間が人間らしく生きる権利」を最初に目立つように記載するのは良くないのではないかと。	該当部分を修正した。 「人間が人間らしく生きる権利」を削除した。  神奈川県: 人権は、人間の尊厳に基づいて、すべての人が生まれながらに持っている権利であり、個人としての生存と自由を確保し、より幸福な人生を送るために欠くことのできない権利です。 横浜市: 人は、誰もがかけがえのない存在であり、一人ひとりが多様な個性と豊かな可能性を有しています。人権とは、その基盤となる一人ひとりの尊厳に関わる固有の権利であり、それらが保障されることによって、人は希望を持ち、努力し、可能性を発揮することができます。
5	16～17	III 4(2) ■ 施策の方向性 ■	子どもの人権の施策の方向性に、インターネットと人権に関する教育や情報提供などについて盛り込んではどうか。	インターネットの人権の施策の方向性に記載があるため、修正しないこととした。
6	42	III 4(14) 様々な人権問題 ア 刑を終えて出所した人の人権	刑を終えて出所した人に対する偏見や差別をなくすためには「忘れられる権利」まで認める(記載する)必要があるのではないかと。 逆に「忘れられる権利」まで記載しないのであれば、偏見や差別をなくすという表現を弱めるかどうか。	概念としてまだ一般的に定着していないことから、今回は取り上げないこととした。 考え方としては、一段落目最後の「など」のなかに「忘れられる権利」を前提としたインターネットを含めることとした。  「忘れられる権利」は2014年に欧州連合司法裁判所で初めて言及され、グーグルに削除を求められる場合があると判断を示した。日本では2017年最高裁が初判断。比較的新しい概念で、表現の自由を重視する米国では否定的。
7	38～39	III 4(12) 災害時における人権侵害	障がいのある方を含めた様々な方が利用する避難所であるため、部屋を分けるなど、特別な配慮をする場合があることを事前に市民に対する周知が必要ではないかと。	施策の方向性2で示しているものとして修正はしないこととした。
8	38	III 4(12) 災害時における人権侵害	「平成23(2011)年3月11日に発生し、」とあるが何が発生したのかわかりにくいのではないかと。	該当部分を修正した。 「東日本大震災」を「発生し、」の後に続くように記載を変更した。
9	26～27	III 4(6) 外国につながるのある市民の人権	外国につながるのある方の背景を踏まえた社会的な理解が欠如しており、それが外国人に対する差別やヘイトクライムの要因となっているということを、施策の方向性の外国につながるのある市民に対する理解の促進、ヘイトスピーチの解消の文章に記載し、具体的な項目として、日本人教育が必要であるということにつなげてはどうか。	該当部分を修正した。 施策の方向性には含めないが、社会的な背景として前段に膨らませて書くこととした。
10	26～27	III 4(6) 外国につながるのある市民の人権	外国につながるのある市民に対する理解促進については、学校教育に取り入れることも必要ではないかと。	施策の方向性1に記載があるので、修正はしないこととした。
11	6	II 1 基本理念	「人間が人間らしく生きる権利」を最初に目立つように記載するのは良くないのではないかと。	該当部分を修正した。 「人間が人間らしく生きる権利」を削除した。
12	6	II 2(2) 一人ひとりの人権を尊重するまちづくり	「自立」という言葉だと経済的自立という意味合いが強いが、この文脈においては精神的に自律しているという意味での「自律」を使用したほうが良いのではないかと。	該当部分を修正した。 「自立」を「自律」に変更した。